

タマネギの冬春播き栽培に適する品種の選定

野菜研究所

近年、本県の農業関係者の中でタマネギが話題になっています。本県は、タマネギの生産量が非常に少なく国の統計数値には、出てこない状況にありますが、主産県である北海道や兵庫県等の端境期にあたる、7～8月の出荷が可能で有利な立地条件にあると言えます。

タマネギの栽培を始めるにあたり、まずは品種を選ぶ必要があります。現在、タマネギ栽培に取り組み始めた県内の各地域では、地域に適すると思われる市販品種を選択して栽培している現状にありますが、市販品種の中には、本県では種子が購入できない地域限定品種もあります。

そこで、県内で一般的に種子が購入できる品種の中から、本県に適する品種を選定したのでご紹介します。

適品種の特性

- ◆ 平成28～30年に品種比較試験を行った結果、倒伏期ごとに商品収量が多く腐敗の少ないことを基準とし、選定した品種は以下の4品種です。

品種名	倒伏期	収穫期	調整重 (1個当たり)	商品収量 (10a当たり)	球形
オーロラ	7月中～下旬	7月下旬	250g程度	4.5t程度	扁平
もみじ3号	7月下旬	7月下旬～8月上旬	230g程度	4.0t程度	最も円に近い
ケルたま	7月下旬	8月上旬	230g程度	4.0t程度	扁平
マルソー	7月下旬～8月上旬	8月上旬～中旬	250g程度	4.5t程度	やや扁平

試験の耕種概要

播種日：平成28年2月15日 平成29年2月22日(マルソーのみ3月4日)
平成30年2月13日
定植日：平成28年4月25日 平成29年4月25日 平成30年4月13日

技術の活用・注意点

- ◆ 2月中旬～下旬に、パイプハウス内で200穴のトレーに播種・育苗し、4月中～下旬に定植した場合の結果です。播種時期や定植時期、プラグトレーのサイズ等が変わると異なる結果になる可能性があります。

この試験は、農林水産省委託プロジェクト研究「広域・大規模生産に対応する業務・加工用作物品種の開発」「実需者のニーズに応じた加工適性を持つ野菜品種等の開発」を利用した研究です。



播種約15日後の様子
(平成30年2月28日)



定植約1ヶ月後の様子
(品種マルソー:平成30年5月22日)



定植約2ヶ月後の様子
(品種マルソー:平成30年6月22日)



収穫期の様子
(品種マルソー:平成30年7月31日)

お問い合わせ

野菜研究所 品種開発部 (Tel 0176-53-7171)